

令和4年2月14日
観 光 庁

アドベンチャーツーリズムにおける課題と解決策をレポート

～地域の魅力再発見事業 オンライン報告会開催～

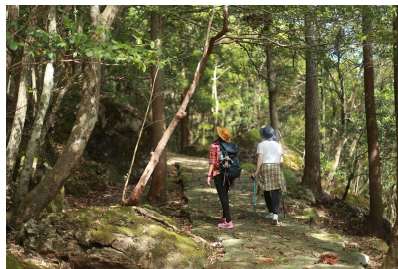
観光庁は、国内外の観光客の消費額増加や満足度向上に繋げることを目的に、自然・文化等の地域資源を発掘・活用する地域の取組を支援しております。

この中で、今年度の事業(※)において採択した実証事業を通じて可視化された地域の現状・課題や、その解決策をご報告するため、成果報告会を開催します。

(※)「令和3年度 アドベンチャーツーリズム等の新たなインバウンド層の誘致のための地域の魅力再発見事業」事業概要は、【別紙1】ご参照。

開催概要

- 【名称】 「令和3年度 アドベンチャーツーリズム等の新たなインバウンド層の誘致のための地域の魅力再発見事業」成果報告会
- 【日時】 令和4年2月28日(月) 14時00分～17時00分
- 【形式】 オンラインライブ配信(YouTube)
- 【視聴URL】 <https://youtu.be/oSVsoY2BWqo>
- 【プログラム】 ○事業概要説明
○実証事業実施者と有識者・専門コーチによるトークセッション
○12事業を通じて見えた地域の現状分析と課題
○有識者を交えたパネルディスカッション
- 【登壇者】 【別紙2】、【別紙3】ご参照。



問合せ先

観光庁 観光地域振興部 観光資源課 新コンテンツ開発推進室 担当:岩井・加藤
E-MAIL:hqt-rediscovery@mlit.go.jp TEL:03-5253-8924(直通)
注:可能な限り、メールでのお問合せにご協力をお願いします。

アドベンチャーツーリズム等の新たなインバウンド層の誘致のための地域の魅力再発見事業

【事業概要】

- 12のエリアで、その地域ならではの自然、アクティビティ、文化体験を活用したコンテンツを造成。
- 実証事業の実施においては、外部有識者・専門コーチが事業者に伴走し、事業設計・実施・運営のあらゆる領域に対して改善指導(コーチング)を実施。
- 自然・文化等の地域資源を観光コンテンツとして磨き上げることで、将来の反転攻勢のための基盤を整備。

【取組内容】

- アドベンチャーツーリズム等のコンテンツ造成を総合的に推進
 - ビジネスプラン作成
 - 事業推進体制の構築
 - 地域との合意形成
 - 核となる体験コンテンツの造成
 - ガイド育成
 - 情報発信基盤整備
 - プロモーションの実施
- 事業内容や事業者が抱える課題に合わせてコーチングを実施
 - 本質的な課題の抽出及び優先順位の見極め
 - ボトルネック及びブレイクスルーポイントの見極め、解決すべき課題の優先順位付け
 - 継続事業として成功させるための「面」のサポート
 - チームビルディング、合意形成、コンテンツ造成、価格設定
 - 情報発信と販売環境の整備
 - ウェブサイト・動画制作、SNS運用、PR戦略、メディアプロモート、販路開拓

日本の豊富な地域資源を活用することで
国内外の観光客の消費額増加や、満足度向上につながるコンテンツを造成



注：本事業において採択した実証事業については、観光庁ウェブサイトにて紹介しています。
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/coaching.html>

事業者例(成果報告会に登壇する実証事業実施者)

長期滞在型佐渡まるごとアドベンチャーランド事業(新潟県佐渡市)

代表主体:サンフロンティア佐渡株式会社

登壇者 :サンフロンティア佐渡株式会社 シニアアドバイザー 清永 治慶氏
マーケティングマネージャー 海野 政人氏

事業概要: 新たに開業した「佐渡アウトドアベース」を基軸として、佐渡のアクティビティ・文化・自然を堪能できる長期滞在プランを造成。オウンドメディアを整備し、点在していた佐渡の様々なコンテンツを再編集することで、佐渡全体の魅力を発信。

日本独自のハードアクティビティ『沢登り』の磨き上げ・魅力発信事業(福井県若狭町)

代表主体:株式会社PLUS WILD

登壇者 :株式会社PLUS WILD 村田 浩道氏

事業概要: 本格的なハードアクティビティである「沢登り」と上質な宿を組み合わせることで、ほかの地域と差別化を図れるATの商品を造成。地域のウェブサイト改修やプロモーション素材の制作等を行うことで、地域の魅力を発信する基盤を多面的に整備。

南アルプスの古道を活用したE-MTBツアー造成事業(山梨県南アルプス市、富士川町)

代表主体:一般社団法人南アルプス山守人

登壇者 :一般社団法人南アルプス山守人/南アルプスマウンテンバイク愛好会 弭間 亮氏

事業概要: 古道を活用したE-MTBツアーを造成するために、地方公共団体等に対して山道利用に関する許認可取得のための働きかけや合意形成を実施。これまでの活動及びビジョンを可視化するファクトブックやオウンドメディアの整備を行い、南アルプスをアジアNo.1のMTB デスティネーションとすることを目指す。

To Touch the Holy Waters of Kumano ~秘境南紀 水を全身で感じる旅~
(和歌山県田辺市、白浜町、すさみ町、その他県内全域)

代表主体:株式会社TABI KYO JAPAN

登壇者 :株式会社TABI KYO JAPAN 羽田 明史氏

事業概要: 熊野古道を訪れる富裕層観光客に対して、紀伊半島の+αの魅力となる「水」をテーマに、長期滞在と顧客単価向上を狙う新たな観光商品を造成。地域事業者の巻き込みやガイド体制の整備によって、持続可能な事業体制を構築。



コーチングに携わった外部有識者・専門コーチ(成果報告会に登壇する外部有識者・専門コーチ)

本事業においては、コンテンツの造成、クリエイティブ、プロモーション等の各分野の専門家を、地域の状況に応じ配置することにより、事業の自走による継続及び拡大を目指し、事業体制・計画・制作・実施等に対するコーチングを取り入れた。

外部有識者



梅澤 高明氏
KEARNEY 日本法人会長／CIC Japan 会長

KEARNEYの日米オフィスで25年間、戦略・イノベーション・都市開発・マーケティング関連のコンサルティングを実施。また、2020年10月に開設したCIC Tokyoで、国内最大規模の都心型スタートアップ集積を構築中。政府の「観光戦略実行推進会議」で富裕層観光、文化観光の推進を継続的に提言。観光庁「上質な観光サービス創出に向けた観光戦略検討委員会」「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり検討委員会」座長、内閣府「知的財産戦略本部」本部員など、政府委員会の委員を務める。



永谷 亜矢子氏
株式会社an 代表取締役／立教大学 経営学部 客員教授

リクルートにて営業・企画・編集を経験。東京ガールズコレクションを立ち上げ、プロデュースし、同運営会社の代表に就任。2008年日経ウーマンオブザイヤー2位に選出。その後吉本興業にて役員としてPR統括、海外事業や行政事業を担当、2016年に独立。東京ガールズコレクションや御堂筋ランウェイ等の大型イベント、雑誌やデジタルメディアのプロデュース、企業や地方公共団体のマーケティング・PRコンサルティングなど、様々な事業プロデュースを担う。



齋藤 貴弘氏
Field-R法律事務所

弁護士として各種文化やエンターテインメント、スポーツ振興に関する各種法務に加え、法規制対応や政策立案を含むルールメイキング分野にも注力し、風営法改正やそれに続くナイトエンターテインメント施策をリード。また、文化庁や観光庁と共に、文化・観光・まちづくりを横断する視点での調査や事業支援を行っている。

専門コーチ



日野 昌暢氏
株式会社博報堂ケトル チーフプロデューサー

1975年福岡県生まれ。2000年に博報堂に入社し、2014年に博報堂ケトルに加入。“本質的な地域活性”をマイテーマに活動。地域の資産や人を生かすための土台作りをこたわり、継続的な地域活性に繋がるアクションをプロデュースすることを信条とする。2020年には、九州取材テリトリーにするローカル発Webメディア「Qualities」を創刊し、編集長に就任。高崎市「絶メシリスト」、広島県観光連盟「牡蠣食う研」など、地域活性事業を多数プロデュース。受賞歴に、CANNES LIONS、Spikes Asia、ADFEST、ACC TOKYO CREATIVE AWARD グランプリなど。



大木 秀晃氏
株式会社博報堂ケトル クリエイティブディレクター／株式会社OOAA 代表

主にコミュニケーションの統合プランニング、ブランドビジョン策定、コンテンツ制作、コミュニティ運営、空間体験設計などを得意とする。2012年、代々木公園で防災キャンプを行う「SHIBUYA CAMP」の立ち上げに参加、2016年、コミュニティFMである「渋谷のラジオ」の立ち上げに参加、2019年、クリエイティブコミュニティ「TRAIN TRAIN」を立ち上げるなど、コミュニティやコンテンツをつくる仕組み創りを続けている。



朝比奈 耕太氏
ピークス株式会社

アウトドア事業部局長／PEAKS編集部 編集長。現在担当する媒体は、山岳専門誌「PEAKS」、アウトドアフリーマガジン「フィールドライフ」、バックカントリースキー&スノーボード専門誌「WHITE MOUNTAIN」、オートキャンプ専門誌「CAMP TOOLS」、エクスペディションマガジン「WILDERNESS」など。アウトドア媒体を中心に編集長を兼務する。

外部有識者(成果報告会に登壇するゲスト)



荒井 一洋氏
NPO法人大雪山自然学校代表理事／アジアエコツーリズムネットワーク理事／日本エコツーリズムセンター理事

グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会公認トレーナー。2001年から北海道東川町にて「大雪山自然学校」を設立し、エコツアーや子供自然体験活動を実施。大雪山国立公園・旭岳エリアの自然保護対策事業を受託し「利用者による環境保全の仕組みづくり」に取り組む。また、北海道アドベンチャートラベル協議会会長の活動の中で、アウトドア観光を手法とした持続可能な地域づくりに取り組む。子供自然体験活動や自然保護対策事業にも携わる経験から、地域での実践的な取組等への助言も行う。